

10. 【『年報』編集委員会から】

昨年末の編集委員会で、『年報』第36号について、編集方針やスケジュールなどを以下のように決定しましたので、ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

(1) 【共通テーマ】は「日本農村の20世紀システム」とし、東洋大学で開催された第47回村研大会のテーマセッションを中心にして編集することになりました。テーマセッションの報告者に原稿を依頼するとともに、必要に応じて、執筆者として適当な方に原稿を依頼することになりました。また、【共通テーマ】に関連した論文の自由投稿を、下記の要領で募集致しますので、ふるってご応募ください。

投稿テーマ：【共通テーマ】＝「日本農村の20世紀システム」に関連するもの

枚 数：400詰原稿用紙50枚相当（図表を含む）

申込の締切：2000年2月末日

申込先：藤井勝 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学文学部

（電話）078-803-5514 （FAX）078-803-5589

（e-mail）mfujii@kobe-u.ac.jp

原稿の締切：2000年3月末日

原稿提出先：藤井勝 同上

(2) 【研究動向】については、次の方々に執筆を依頼しております。文献（論文や著書）のコピーや抜刷を、是非とも執筆者にお送りください。4月末頃までにお願いします。なお「法学・法社会学」については『年報』第30号以降の時期に出された文献が、また「西ヨーロッパの農村社会」については最近10年程度の間に出来られた文献が対象となります。

史学・経済史学：高橋基泰

経済学・農業経済学：大川健嗣

社会学・農村社会学：佐藤直由

法学・法社会学：棚澤能生 〒

西ヨーロッパの農村社会：熊井治男

(3) 編集委員会は、提出された自由投稿論文を審査して採用の可否を決めます。また依頼原稿についても編集委員会で査読を行います。こうした手続きを経て、6月中旬には、研究動向を含めた全ての原稿を農文協に入稿する予定です。発行は、2000年秋の第48回研究大会に間に合わせます。（藤井 勝）